

処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方

注射用水

Sterile Water for Injection

貯法：室温保存

有効期間：20mLアンプル 3年

100mLボトル 3年

500mLバッグ 3年

500mL・1000mLボトル 5年

注)注意－医師等の処方箋により使用すること

許可番号	13A1X00008
販売開始	1953年4月

3. 組成・性状

3.1 組成

成分	20mL中	100mL中	500mL中	1000mL中
注射用水	20mL	100mL	500mL	1000mL

3.2 製剤の性状

性状	無色澄明の液
----	--------

4. 効能又は効果

注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤

6. 用法及び用量

本剤の適量を取り、注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。

また、注射剤の製剤に用いる。

14. 適用上の注意

14.1 全般的な注意

14.1.1 使用時には、感染に対する配慮をすること。

14.1.2 注射針や輸液セットのびん針は、ゴム栓の刻印部(凹部)に垂直にゆっくりと刺すこと。斜めに刺した場合、削り片の混入及び液漏れの原因となるおそれがある。また、針は同一箇所を繰り返し刺さないこと。

14.2 薬剤調製時の注意

注射剤の溶解希釈剤として使用する場合は、注射用水が適切であることを確認すること。

14.3 薬剤投与時の注意

〈製剤共通〉

14.3.1 原則として、連結管を用いたタンデム方式による投与は行わないこと。輸液セット内に空気が流入するおそれがある。

14.3.2 容器の目盛りは目安として使用すること。

14.3.3 残液は使用しないこと。

〈100mL・500mLプラスチックボトル製剤〉

14.3.4 通気針は不要であるが、薬液量が少なくなると排出速度が低下してくるので、滴下速度に十分注意すること。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

本剤は注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤として用いる。

20. 取扱い上の注意

20.1 液漏れの原因となるので、強い衝撃や鋭利なものとの接触等を避けること。

20.2 以下の場合には使用しないこと。

- ・外袋内や容器表面に水滴や結晶が認められる場合
- ・容器から薬液が漏れている場合
- ・性状その他薬液に異状が認められる場合
- ・ゴム栓部のシールやキャップがはずれている場合

22. 包装

20mL[50管(プラスチックアンプル)]

100mL[10本(プラスチックボトル)]

500mL[20本(プラスチックボトル)]

500mL[20本(プラスチックボトル広口開栓型)]

500mL[20本(プラスチックボトル細口開栓型)]

500mL[20袋(ソフトバッグ)]

1000mL[10本(プラスチックボトル広口開栓型)]

1000mL[10本(プラスチックボトル細口開栓型)]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

光製薬株式会社 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2丁目11番15号

TEL 03-3874-9351

FAX 03-3871-2419

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

光製薬株式会社

東京都台東区今戸2丁目11番15号